

No. 12-1-15 場所 中川村大草地区 大谷洞

次世代への継承キーワード

地域コミュニティ

名称

①柿の木だけが砂礫の中に残る大谷洞  
②丈余の巨石が無数に庭先まで運ばれた

災害現象

土砂流出

河川

天竜川

補足事項

支流

大谷洞

概要

中川村では手の施しようの無い、大惨状となった。村内の死者 18 人、負傷者 8 人、流出家屋などの被害 314 戸。農林業や道路・橋などの損害も甚大で、全村の耕地面積の約 36%が流出するという大被害であった。

●体験談：赤穂高校 1 年生（災害当時 中川村中川西中学校 3 年生）

騒ぎ出したのは夕方頃からだった。鐘は鳴り、有線はしきりに怒鳴る。そのうちにお宮が崩れてしまった。それに引き続き、すごい音で人家がつぶれてしまいました。それから数分後、私の家へ近くの人が避難して来ました。でも電気は切れ、有線も切れ、ただ朝を待つばかりとなってしまいました。私達はみんなで一つの所に集まっていたのですが、大人の人が、「ここへ崩れてくりゃあ、皆と一緒に死ぬんだでいい。」と言い出しました。そのうちに、けたたましい雨の音と共に、石の語戸ごとと流れる音。岩が崩れる音とが入り混って、私達をいっそう不安にしました。

**「もう皆手をつなげ。死ぬ時は一緒だから。」**

**と言う大人の人の声に私達子供は、**

**「まだ死ぬのはいやだ。」**と言いながら暗黒の中で泣いていました。

長い恐ろしい一夜が明け始めたころすごい音がしました。皆が悲鳴をあげ、あわただしく戸をあけると、腰も抜かさぬばかりに目の前に大木や家の屋根なんかが入ってきているんです。

（「濁流の子」より）

記録



土砂の流出により、柿の木だけが砂礫の中に残っている大谷洞



無数の丈余の石が庭先まで運ばれた

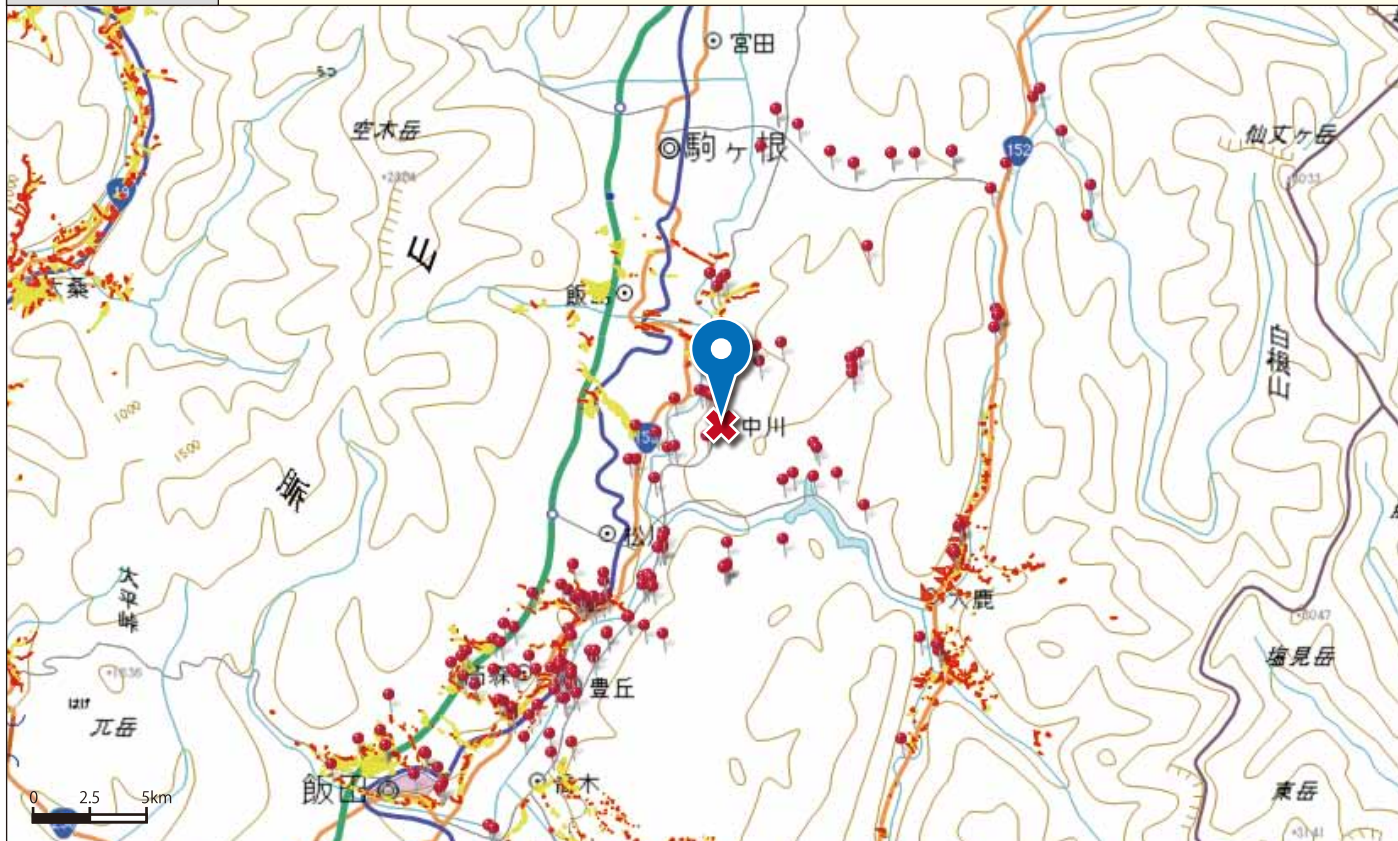
出典 「中川村の災害誌」 P.9/「濁流の子」 p.74

備考

No.	12-1-15	場所	中川村大草地区 大谷洞	緯度	35.635998
-----	---------	----	-------------	----	-----------

名称	①柿の木だけが砂礫の中に残る大谷洞 ②丈余の巨石が無数に庭先まで運ばれた	経度	137.952332
----	---	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---